



記者発表資料	
令和5年5月12日	
担当課 (担当)	観光・ジオパーク推進課 (平井・米澤)
電 話	30-8293 (内線 2702)

鳥取砂丘西側市有地活用促進事業（リゾートホテル誘致）の進捗について

本市が鳥取砂丘西側に誘致を進めているリゾートホテルについては、本年1月に環境省の国立公園事業の執行認可、2月に建築確認済証が交付されるなど、進展が図られているところですが、現在のプロジェクトの進捗状況についてお知らせします。

1. 事業の経過について

令和2年2月 基本協定の締結（相手方：(株) d h p 都市開発）

令和3年1月 基本協定、プロポーザル提案内容の一部変更

項目	内容
ホテル 開業時期	旧：令和5年1月1日（令和4年11月開業予定） 新：令和7年1月1日（令和7年4月開催予定の大阪・関西万博を見据え再設定）
ホテル ブランド	当初予定のアジア系海外ブランド（4つ星級）に加え、同じクラスの新たなホテルブランドを視野に誘致活動を進める。
客室規模	当初予定の150室程度を、1室あたりの面積を大きくするなど総数を見直す。

令和5年1月 環境省の国立公園事業執行認可

令和5年2月 建築確認済証の交付

令和5年3月 土地代金等の全額納付、土地の所有権移転

特定目的会社「合同会社鳥取砂丘リゾート開発」の設立

2. ホテルブランドについて

本年3月、最終の候補となるホテルブランド側から関心表明書が提出され、現在、ホテル事業者とブランド側との間で基本合意書の締結に向けた最終調整を行っています。

当初はこの基本合意書の締結後にブランドを発表する予定でしたが、ブランド側の意向により、発表は本契約締結後となる見込みです。

本契約締結までには、ブランド側とのフランチャイズ契約の手続きなどに数カ月を要するため、着工の具体的な時期は本契約締結時点で明らかになる予定です。

<当初の流れ> 基本合意書締結 ⇒ ブランド発表 ⇒ 本契約締結 ⇒ 着工
<変更後の流れ> 基本合意書締結 ⇒ 本契約締結 ⇒ ブランド発表 ⇒ 着工

3. 開業時期について

現在、基本協定に定める令和7年1月1日までの開業については、事業者が計画する22ヶ月の工期を想定すると難しい状況となっています。

この背景には、ウクライナ情勢に伴う建築資材の高騰による総事業費の増加とこれに関連したインテリアデザイン、客室単価の調整に係るブランド側との交渉に時間を要していることが関係しています。

一方でホテル事業者による精力的な活動により、事業は着実に進展しており、当面はブランド側との基本合意書、本契約の締結を優先的に進め、開業の目途を立てた上で、着工及び開業時期を明らかにしていくこととします。

4. ホテルイメージパース

別紙のとおり

■敷地面積：18,263㎡	■建物面積：約5,158㎡
■延床面積：約14,328㎡	
■構造：鉄骨造 地上3階・地下1階建	
■客室数：116室（北棟60室、南棟56室）※面積：1室約50㎡	



※北棟中央部の水盤と丸く空いた穴の部分は「(仮称) 星取テラス」とし、星を見るスペース

